

## 部活動地域展開に関する説明会\_アンケート結果

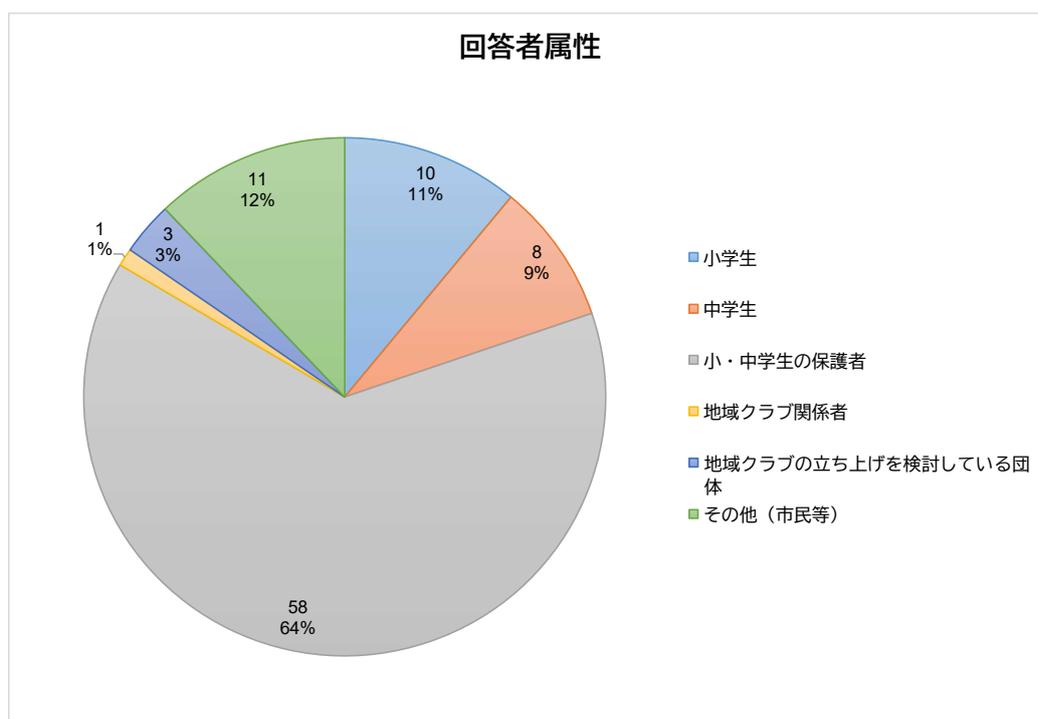
## ●開催日時・場所・参加人数

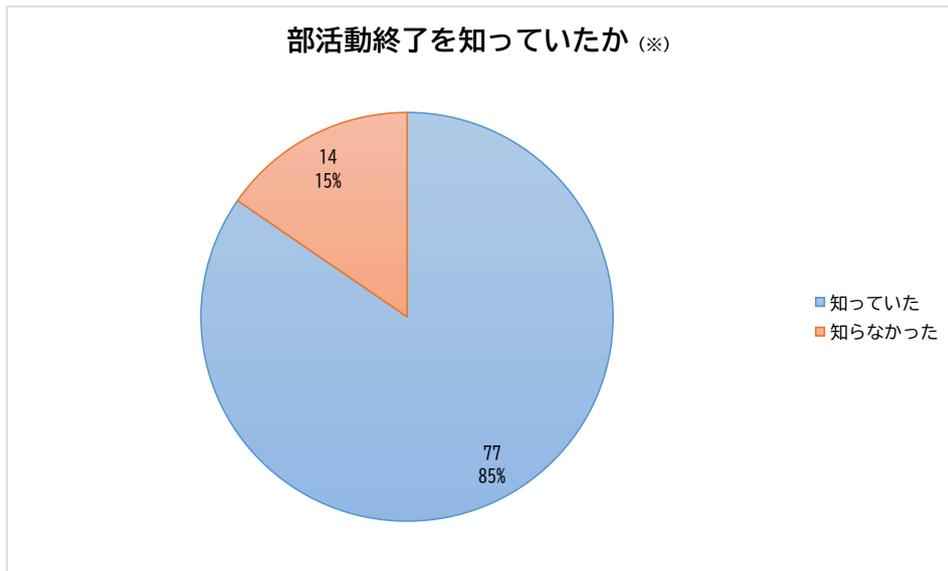
日にち	場所	参加人数
9月25日	六中	43
9月26日	とどろみ	24
9月27日	ライブラ	37
9月29日	一中	72
10月6日	彩都	46
10月7日	五中	43
10月9日	二中	36
10月10日	四中	51
10月14日	三中	45
合計		397

## ●アンケート結果

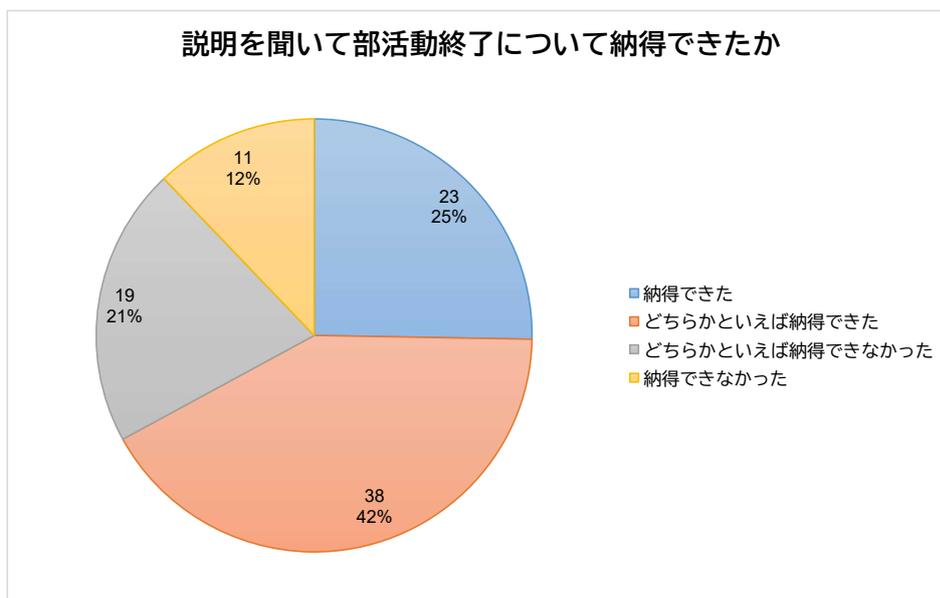
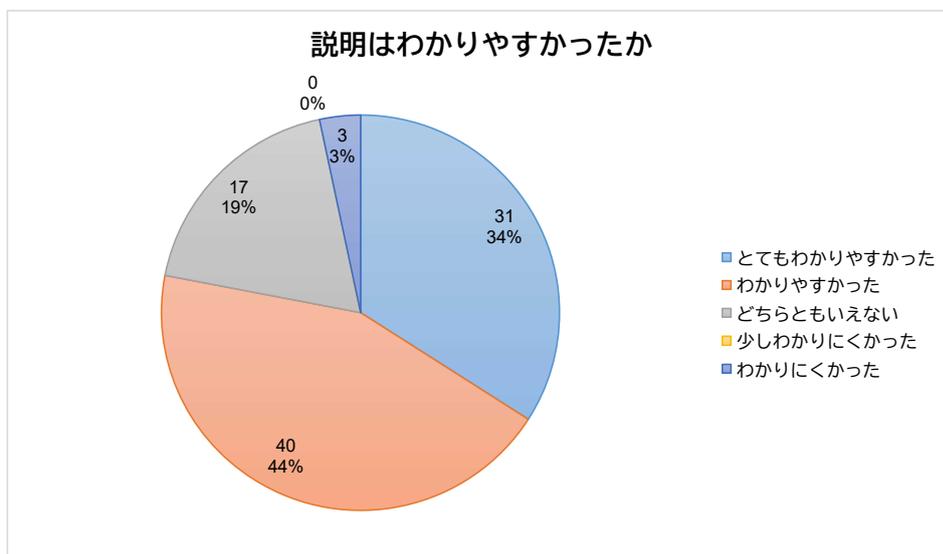
回答数：88件

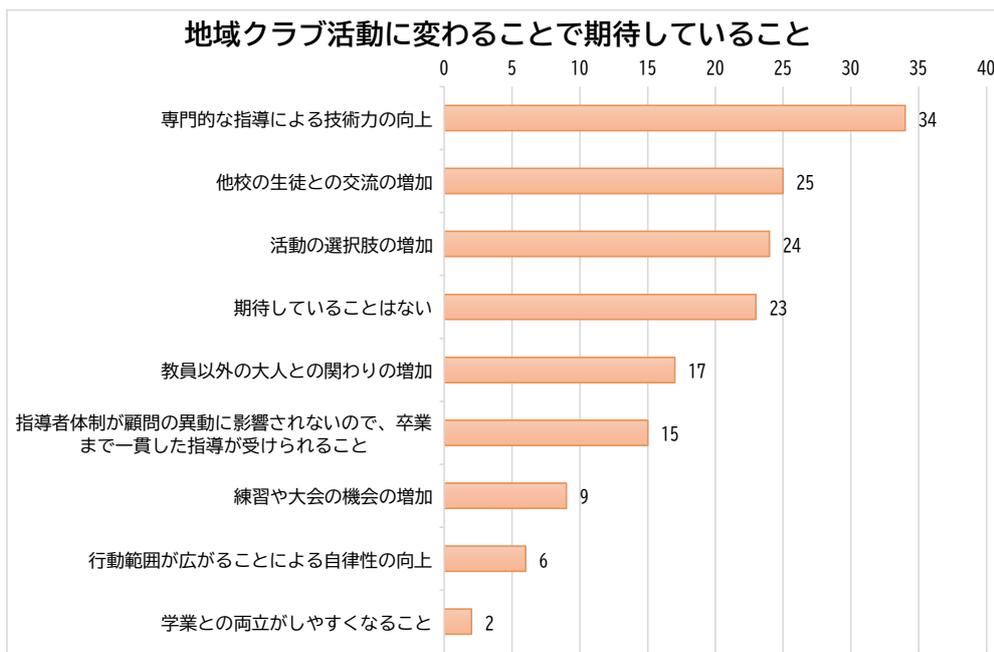
回答方法：アンケートフォームから回答





※説明会の案内を受け取るよりも前に、「令和9年度中に部活動が終了する」ことを知っていたか に対する回答





## (その他事由記述)

他校との関わり、人との関わり苦手、支援も必要だしそのことが全く置き去り 何かを始めるときは、まだまだ一からだけれど車がなくて送迎できない、遠い場所お金がいる、良いことしか言っていない、子どもたちは、本当にこれでいいのかなあ。多分やりたいかは、習い事でもやってる、やらない子は、ずーっと行かないし諦める子どもも多くなる

学校教育(授業)の質の向上。

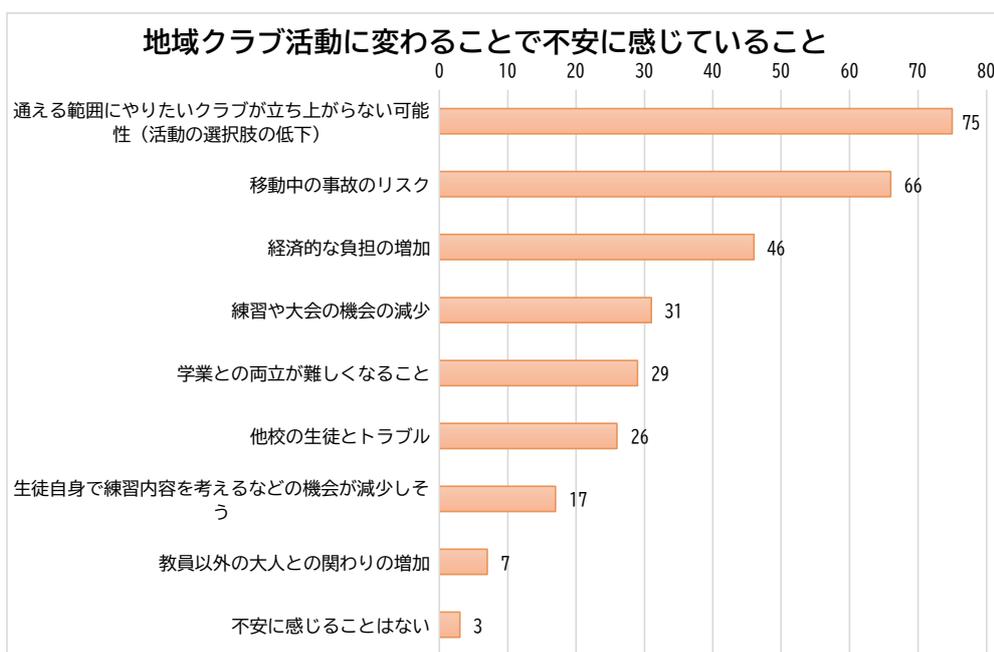
今までは、部活の時間が決まっていたから、塾にも通いやすかったと思いますが、逆に塾の時間と地域クラブの時間がかぶるのではないかと不安に思っています。

今までの部活動と同じような子どもたちの心身共に成長する機会

期待よりも不安が大きい

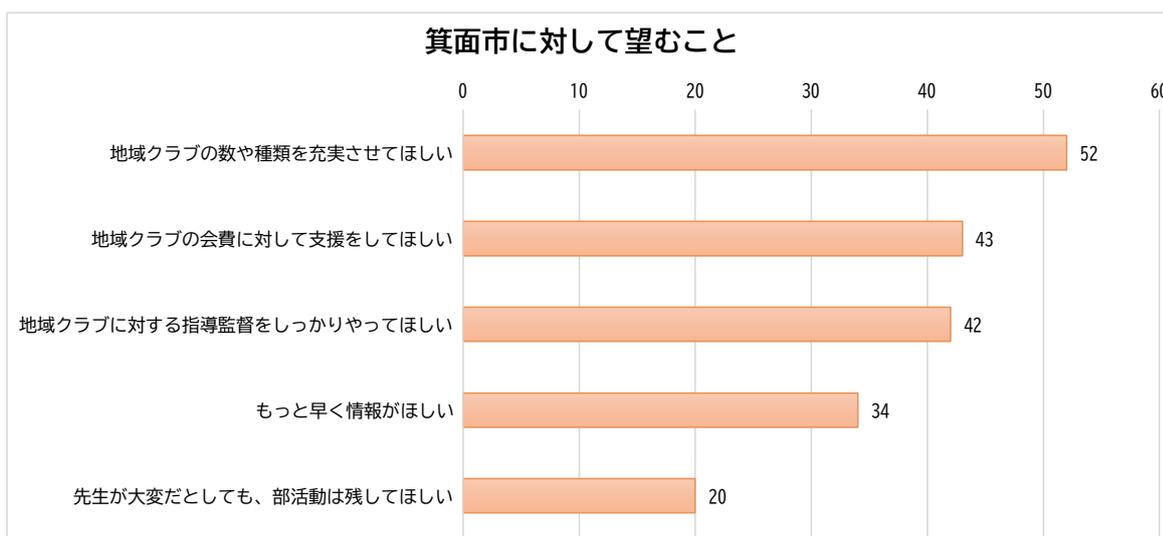
クラブに入らない子どもへのケアも必要になってくると思うので、ぜひ考えてほしい。

子ども達が、おきざりにされて、大人の事情のみ優先されている



(その他事由記述)

地域クラブに入りたくても入れない子が出てくるのではないかと思う。
子ども達の放課後の居場所がなくなること
移動に時間がかかる為、家庭学習時間の減少。
同じ学舎の仲間との繋がり。先生との信頼関係が築きずらくなるのではと不安
性犯罪
指導者に子どもの特性を理解してもらえるのか。勝利主義にならないか。
部活動を通じての同じ中学校の友だちや先生との関係性が薄まること、授業以外での仲間や先生との活動を通じて得られるものの喪失。
教育的活動ではなくなるためトラブルがあった時などの学校と地域クラブがどのように連携をとり対応してくれるのか
交通費の負担が大きい。
同校の友達ができにくい。先生と生徒の関係が希薄になりそう。学校が楽しい場所でなくなりそう。
やりたいスポーツがしっかりある子は、1人でもどこでも練習しに行くと思いますが、そうではない子らにとっては、中学校という新しい生活が始まる中、思春期の中学生が違う場所で見知らぬ人と地域クラブに参加するのは、長い目で見てもハードルが高いと思います。大人でも難しいのではないのでしょうか。先生と生徒との関わりが減ることは確実なので、希薄になる関係で、シドが素直に届くかも不安。こどもらにとってどんどん学校が面白くなっていく。勉強が苦手であるとか、教室の友達関係がうまくいっていない状況であっても、部活があるから、部活内のメンバーがいるから学校に行けた子も確実にたくさんいたと思うが、部活がなくなる事で、不登校も増える可能性。同じ学校の多学年との関わりもなくなるので、生徒同士も希薄になる。こどもらへの説明が不十分なので、中学校に行ったら何部に入るという楽しみもなく、がっかりしている小学生が大半。
地域クラブに入ったけれど、そのクラブの経営がなりたたなくなり、クラブがなくなったとか、指導者が歳で、クラブがなくなったとか、心配。生徒がせっかく選んでもクラブそのものの継続が維持されるのか、はっきりしない
移行期間のため、野球部やサッカー部は、3年間クラブを同じところで継続できない。
生活時間の変化による様々な支障→放課後に空き時間ができると2時間が増えたり、友達と遊び回るのは。塾の時間と重なる児童も出てくるため、教員が教育へ専念できる分、学力向上は必然条件となる。
移行期間に中学に在籍する子どもたちは、・部活動が残っていることで地域クラブに入りにくい・地域クラブが少なく活動場所も限られている・費用面の負担がある・種目によって活動場所が異なり、移手段の問題も生じるなどの理由で不利な立場にあると思います。
子供達の居場所が無くなるようで不安。同じ中学の仲間と、仲良く過ごす時間が少なくなり、孤立する子供が増えるのではないか。
安全面の確保など、不安しかない



(その他事由記述)

先に移行している他の自治体(箕面市と同様な規模の市)の状況を踏まえ進めてほしい
保護者、子ども、教育委員会より、先生の授業の評価の開示。
学校という場所を最大限に利用してほしい。
今回の説明会は、保護者向けの内容でしたが、内容としてはキレイに作り過ぎている気がします。保護者・家庭に負担してもらう点(費用負担・送迎)は、先に伝えておくべきだと思います。

指導者の子どもを理解する定期的な研修を実施してほしい。市が実際の指導の様子を見るなども行なってほしい。
身近な市民大会がなくなることは残念なこと、地域クラブでも他市を含めてそれに代わる大会の開催を考えられるということでしたが、なるべく活動する機会と参加する子どもたちが活躍できる機会を確保してほしい。
移動手段（例えば、地域クラブ活動送迎に限り校内乗り入れ許可証など）
現場の教員が部活ではなくなることよっての無関心な態度はやめていただきたい
地域クラブと学校との連携を充実させて欲しい。特に地域クラブで見受けられることどもの良いところを学校にも共有して欲しい。
森町止々呂美地区だと、会費とかよりも交通費の負担が大きい。高校進学後はある程度覚悟していたが、中学の放課後の活動になると、通学定期が適用されないから高校以上に負担が大きい。
子どもが自分で通うことのできる環境。金銭面での負担軽減
数が増えるまで、年月がかかると思う。増やすためにも移動をしやすくしてほしい。例えば自転車通学を認めるなど。
これから中学校に上がっていくこどもらが楽しみに思える、安心できる具体的な説明を大人の事情を抜きに、こどもらのためだけを考えて、話してあげてほしい。部活に対して絶望を感じている子は多いです。
移行期の子どもたちにきちんとした説明をしてほしい。
システムを明確にしてほしい。
先生と違う形のスポーツを生業としてる人を探してほしい。週5でなくても学校終わりにできる体制を作してほしい
先生の待遇改善もしつつ、部活動も残す方策を大人が考えるべきかと思います。
箕面市だけの取組では満足のいく運営主体数が集まらないと思う。隣接市の方が近い児童もいるし、スクールリットが出るため広域化させるべき。
これまでは通学している中学でクラブ活動ができていましたが、地域クラブに移行すると活動場所が遠くなる場合があります。そのため、通いたいクラブをあきらめざるを得ない子どももいます。このような移動や距離の問題を解決してほしいです。
やはり学校での活動環境を残しておいて欲しい。
小学校のように、放課後の運動場解放や、週に一回のクラブ活動をしてほしい。子供の居場所の確保と、同じ中学の仲間意識やチームワークのために。
意見を反映させてほしい。今回、前に着席された方々の態度に出ましたが、意見を全く聞かずに耳持たないという姿勢はやめてほしい。

## ●自由記述欄

達成目標に関しては数字として分かりやすい指標が必要なために地域クラブの参加者数を挙げられているのは理解できません。しかしながら分かりやすい数字の指標だけではなく、地域クラブに参加している子どもたちの顔や過ごし方があるのか、あるいは参加していない子どもたちを皆様で見守りながら、より良い環境を整える協力をさせていただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。
先生方の働き方改革を進める上でやむを得ないことなのかなと思う反面、これまで放課後は学校で部活動して過ごすものと当たり前のように思っていたので変化していくことに不安もあります。子どものやりたいと思うものが近くなったり、あっても定員の関係で入れなくて遠方に所属となると継続が難しくなるということにならないか。平日の夜間なら翌日に疲れが残っていて授業中に寝てしまうような状態にならないか。あらかじめ送迎前提と考えた方が無難なのかなと思うものの、兄弟が違うクラブに所属した場合に家庭内で対応できるのか。子どもがまだ小学生（現小6）のうちに知れてよかったと思うのですが、中学在学中に制度が切り替わる学年となるので入学前から子どもなりに不安も募ると思います。今後クラブのリスト等を随時いただけたら不安をなくす材料にもなると思うので情報発信をお願いしたいです。
説明会の開催ありがとうございました。部活が無くなることについては時代の流れの中で致し方ないことと思っており、地域クラブへの移行を行政主導で積極的に行っていただけたことは大変ありがたく思っています。子どもの成長の機会として地域クラブが発展することを願っています。要望として、地域クラブの見学は子どもだけで何うことが可能か調整いただけたらと思います。中学の部活選びは子どもが親の目の届かないところで、先輩の姿を見て自分で憧れ選択する自立の一つだと考えています。親の付き添いなく、自分で判断する経験を積ませたいので、よろしくお願いいたします（先日の説明会で今の地域クラブの方と協議会があるとおっしゃっていたので要望させていただきました）。
もっと説明会を決まってきたことなどして欲しい。保護者とともに進めて欲しい、支援児の子たちは、置き去りですか？学校の先生の業務が多いのは、その考えは、ないのですか？ゆとりある少人数で子どもたちの学業を進めていき、やりたい気持ちが膨らんだとき、そこを伸ばしていける学校、クラブであったり、手続きや、書類に追われているクラブにしてしまったので、そこをなくしていけばいいのに。両極端になると思うんです。地域クラブにすると、やる子は、やるやらない子は、やらない、子どもたちは、居場所が無くなる国の政策ばかり。夢みる校長先生をこの間みました、とてもため息が出るほど羨ましかった。公立でもできるのになあ

<p>地域クラブだどがつつりなイメージが強く、週に何回か1時間程度の、他のクラスや他学年と交流程度ぐらいの活動を望んでいる場合、入部するの対し現状よりハードルが高く、その様なタイプの子は利用しないのかなと思います。地域クラブの団体を増やしてくれるのは選択肢が増え良いことの反面、人数などに偏りがあったり、地域クラブの方達の状況により、急に継続出来る事があったりするのは、と不安に思います。スポーツ少年団のイメージと仰っていましたが、私が知っている感覚だと親の負担も多い様な気がします。吹奏楽やダンス部など今まで、学校の文化祭で見れていたのも無くなること、学校内での生徒同士の関わりは今より薄くなる気がして、寂しく感じます。先生が大変だと言うことは十分に理解できました。地域クラブに移行し働きやすくなり教員も増えると生徒達にとっても良い環境になるかとは思っています。子ども達が充実した中学生活を送れることを願っています。</p>
<p>先生達の働き方改革は重々承知しているが、子どもの居場所を無くしたり教育的機会を失うことはしないでほしい。色々なご家庭があり、必ずしも子どもの願い通りにサポートできない状況(金銭的にも時間的にも)があることも知ってほしい。この内容だと、恵まれた環境にある子どもだけが活動に参加できるように思う。なぜこんなに急いでいるのか、見切り発車しているのか分からない。既に決定事項だ、と市民の意見も聞き入れられず、一方的過ぎる。</p>
<p>丁寧なご説明ありがとうございました。質疑応答で様々な意見が出ておりましたが、教員にも家庭があり、自分の生活もあるのに、教員には部活動を今まで通り運営することを意見するのに、自分たちは何もやりたくないとの意見は自分のことしか考えてない意見ばかりだと思いました。6割の先生が未経験のスポーツを教えているのであれば、自分が自分の校区で部活動を作ればいいのにはと思いました。様々な意見があると思いますが、子供達のことを思って頑張ってください。</p>
<p>生活困窮世帯でなくとも、放課後の活動に費用がかかってくるのは大きな負担になります。どんな支援があるのか、できるだけ早く示してほしいと思います。</p>
<p>先生が大変でも構わないとは思って無いです。が、クラブ活動と、地域クラブでは全然違うものになってしまうのではと思います。中学校のクラブ活動は、本格的過ぎず、はじめての分野にチャレンジする子や、自分がやってきたことを更に続ける子や、合っていないければ変えることもできるし、日々一緒にいる仲間が色々な事に挑戦している姿を見たり、その空気を感じながら、自分も活動できる。先生の違う一面も、生徒の授業では見せない姿も、信頼関係を築く助けになるのでは。地域クラブでは、送迎が必要だったり経済的に負担になったり、みんなが思うように所属できるのだろうか。環境もチームの中だけのというのが息苦しく感じないか。気軽に挑戦できるか？自分がやりたいことがなかったら、わざわざ入らないのでは？クラブ活動は友達といたいからの理由でもキッカケにできる。地域クラブはどうだろうか…クラブ活動を見てくださる先生、大変だと思います。関わり方をどうにかできないでしょうか。他の負担になっている仕事で人に任せられるものはないですか？フォローできる部分をお仕事として任せる人がいたら…なかなか難しいのでしょうか…。クラブ活動をしたくて先生になられた方もいらっしゃると思います。クラブ活動を見てくださる先生にはお手当てを出していただき、週3回に減らして…など、なんとか継続しながら策を見つけてほしいです。色々な理由で地域クラブに行けない子も出てくると思います。せめてグラウンドや体育館など自分達で体を動かせる、友達と過ごせる、居場所があったらと思いますが、同時に見守りも必要だったり…。地域クラブの指導者を増やせれば中学に派遣できて先生の負担を減らしつつ協力のもと見ていただけたら…人材と経費が必要ですが…なんとか、どうにか…まとまらないですが…</p>
<p>現在少年野球チームに所属していて、中学校にあがったら野球部に入ろうと考えていました。現在の地域クラブに野球がない事が不安です。</p>
<p>部活を終了することだけが決まって、環境が全く見えない状況で、どうなるんやろうという思いで説明会に参加させていただきました。うちは在学中に変更になるので、特に心配でした。部活をスライドさせるだけの環境が準備できるのか？平日はどうなるのか？週末だけで鍛錬できるのか？校区外しかなければ通えるのか？中体連の試合には最後出れるのか？学校終わった後、そのまま部活があるから参加してるけど、一度家に帰ってからわざわざ地域クラブに行かないといけないとなるとどれだけの子が参加するのでしょうか？物理的、金銭的に参加できない子もいるでしょうし、先行してる自治体は成功してるんでしょうか？ 今までの先生方のご負担は理解しており、感謝しかありませんが、子ども達に支障がないように問題をクリアして、スムーズに移行していただきたいと思っています。</p>
<p>ぜひ、子どもからの要望も聞いて頂けるようにして頂きたいです。 先生の負担軽減からの子ども達の教育充実となる目的だとは理解していますが、先生方、保護者の意見が強くなってしまう可能性が高いのでは？と想像しております。 子どもを中心に考えて頂けると幸いです。 どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
<p>クラブ活動は何かに入ってほしいと思っています。専門的な方に指導してもらえることはメリットですが校内もしくは通える範囲内でできなければ送迎が必要になったり、めんどくさいから行かないなどにならないか不安です。</p>

○ 今の6年生に、説明会の案内が児童に配られての開催となったが、目標定員310人を掲げているのに対して、説明会の参加者が少なすぎる。保護者への周知が足りないのではないのか。

○ 現在は、部活に入部する前に生徒全員を集めて、各クラブの活動内容などを発表して各自が入部するかしないか、どの部活に入部するか選択している。みのお地域クラブになって、生徒はどのように選択していけばいいのか。

○ 生徒の負担について、フルコンタクト空手を例にとると、どのような特色がある団体なのかは分からないが『とどろみは、年間66000円』で『6中は、年間24000円』と同じスポーツでも格差がある。市としてみのお地域クラブとして展開するのであれば、『子どものニーズ調査』の87%が活動したいとの回答に対応し、生徒の負担を考えて考慮する必要があるのではないのか。

○ 併せて、例えば、

- \* PACON NIINA 会費×定員で、年間192万円。
- \* 空手成心會 会費×定員で、年間330万円。
- \* 箕面トータルスポーツ 会費×定員で、年間240万円。

の収入見込みが考えられる。個人的には、箕面地域クラブとしては、高額すぎると思うが妥当な収入見込みとして展開しているのか。

○ 教育委員会が、箕面地域クラブを認定するが、何を基準に認定しているのか。

例えば、

- \*活動報告・活動予定
- \*決算報告・予算書
- \*団体名簿

などの提出は、あるのか。

これから、どのように展開していくか生徒のことを考えると不安が払拭できません。大人の考えと生徒の思いは違います。生徒たちが、部活がなくなっても、今までどおり部活動と同じ感覚で活動ができることを望んでいます。

校内に、放課後生徒が自由に残れる居場所を作っていたらありがたいです。

文化系のクラブがないのはなぜですか？料理、書道、華道、茶道などのクラブを作ってほしい。習い事の場所が校区外だと車を所有していない家はどうやって参加させたいのでしょうか？病気が理由で自転車にも乗れないですし、徒歩圏内の校区の部活しか参加できません。大人目線での部活終了となっている気がしました。そもそも、中学生の子どもの部活（運動部）に顧問は平日ほぼ監督されていませんか。試合の引率は先生がしてくだっていますが、その負担を地域クラブに担う、もしくは各自で集合などはダメなのですか？毎日部活があることでクラスがしんどい時にも親とケンカした時子どもの逃げ道になっている気もしていました。（もちろん逆のこともあります）学校の放課後の部活だからこそ、運動が苦手だったりしても「中学で初めてだけどやってみようかな？」と上の子はチャレンジしていました。

部活が地域へ移行することは決まったことで覆らないと思うのですが、せめてもう少ししっかり考えてほしいです。様々な子どもたちのチャレンジする気持ちを大切にしてほしいです。文化系のクラブも早急にご検討いただけたらと思います。作れないのであれば習い事への助成金を検討していただきたいです。それなら自分で通える範囲の場所への習い事に行けると思います

国がルールを変更するということでそのルールに従わなければならないことは理解しました。ただただ学校の先生を専門の指導者に変更するのが難しいということもわかりますが、学校という場所や道具など最大限に利用して、平日はできるだけ子どもたちが自分たちの学校で活動できるようになればいいなと思います。

現在、中1の娘が自分たちが引退する時に後輩がいないのが残念がっています。現行のクラブが存続する限りはそこに属する子供たちもいますし、特に現中1の子供たちは3年生までクラブを全うして終えるつもりの子供も多いのかなと思います。この変換期にいる子供達がそういった寂しい思いを出来ればしないような配慮を検討頂けると幸いです。クラブの移行自体は仕方ない事だと思いますが、現中1.小6の特にこの2学年は制度の間で気持ちが揺れ動いていますので特に配慮頂ければと思います。

説明会に参加しましたが、地域クラブ・地域クラブ立ち上げを目指す団体向けの説明会も必要ではないでしょうか？今回の説明会は保護者向けで、クラブ側への説明内容が含まれていない。箕面市としても、様々なルールをしっかり決めて、地域クラブ側に責任・負担を押し付けるような事だけは避けて欲しいと思います。そうしないと、トラブルが発生するだけだと思います。その他、施設開放室などもしっかり連携を取って欲しい。施設開放申請が年1回しかない時点で、新規で体育館を借りるのが難しい。加えて、減免申請を受けるのにも、何ヶ月も掛かる。そういう所も早急に整備して欲しい。

小5の保護者です。子どもは中学に入って、野球ができるのを楽しみにしていました。中1の夏で部活がなくなると知ってショックを受けています。地域クラブにも野球がないので、どうか作っていただきたいです。野球を作るには、場所とナイターの照明も必要だと思っています。お金がかかるのは承知ですが、各学校にナイター用照明を作ってほしいです。お願いします。加えて、今までの部活は、障害があってもなくても関係なく部活に入っていたと思いますが、地域クラブになると保護者子どもともにハードルが高くなるのではと思っていました。子どもや保護者が安心して選べるように、指導者の子ども理解が1番必要だと思われまます。そこにも力を入れていただきたいです。勝つことだけに重点を置くのではなく、指導者にはみんなが安心して過ごせる環境をつくっていただきたいです。

<p>・送迎ができない為、地域クラブの選択の幅が狭まる。場所によっては雨の日はどうなる？行きは自転車で行けたとしても帰りに大雨が降った場合、遠方だと帰宅困難発生に繋がるのではないかと？そゆとこまで考えると仕事をしている子どもは徒歩圏内でしか地域クラブの選択ができないのではないかと？選択の公平性がない。(経済支援と同じく送迎支援を考えて欲しい)※各学校を起点とし地域クラブ界隈を巡回するバス等</p> <p>・部活に所属するも中2の夏に部活が終了したタイミングで地域クラブへ定員数の関係でスムーズに移行できない可能性が想定される。それを見据えて中1の段階で部活(バドミントン)+地域クラブ(バドミントン)の掛け持ちをする人が増えるのではないかと？というか、そうすべきと言った方が正しいのか？そうしておかないと中1から地域クラブのみを選択している者は移行時に不具合はない。逆に部活単独選択しているものは路頭に迷うことになる可能性が発生する(それを回避する為に部活終了時を見据えた地域クラブ枠の確保に走る者が増える。本来入りたい人が入れない)</p> <p>・人気の地域クラブは定員数を決める際に学年ごとの加入枠を決めておかないと中3、中2が殺到して中1は入れませんと言った状態が今後発生する様な気がする。</p> <p>・全国大会を見据えた部活活動をしたいならば、公立ではなく私立中学を目指してください。というのが国の考えなのか？移行期であり、そのタイミングに属するものからすると未知なことに対して結果を待つのはなかなか苦。</p> <p>地域クラブが設立されるかもわからない+仮に地域クラブ設立されてもそこが全中大会に出れる保証もない。</p>
<p>地域移行が容易な部活(スポーツ系等)と、地域移行が難しい部活(マイナーな文化部、高額な道具を取り扱う吹奏楽部等)あるかと思えます。</p> <p>全てを移行するのではなく、残した方がメリットが大きい部活に関しては、柔軟に残す道があっても良いかと思えます。</p> <p>また、開始時間が遅くなると、大半の生徒が放課後通塾している中、時間が重なり結局部活できず帰宅部になってしまう可能性も高いと思えます。</p>
<p>6年の子どもがいます。中学の部活を楽しみにしていたので、もう少し早い段階で部活が終了することを伝えて欲しかったです。先生の負担もあるので、部活がなくなり、地域に移行していくことはわかりますが、他の市などはもう少し早い段階で説明があったり、部活が終了することがまだ数年先だったりするので、箕面市は説明がとても遅いと感じます。</p>
<p>どの子供も自分がしたい事がちゃんと選択できるように、費用面や交通の手段、遅い時間に活動するため安全面の配慮等十分に検討してほしい。</p>
<p>まだ具体的な事がわからないので、週に何回出来るか、土日しか出来ないのか等説明がほしい。今あるクラブはこのままの頻度とするのかも知りたい。</p> <p>移動手段も遠い所はどうするのか具体的に知りたい。</p> <p>また子供達にも積極的にクラブに入れるように説明して、体験会を学校で子供達と一緒に出来たらいいなと思えます。</p>
<p>国も自治体も現状を考えてやむを得ない選択、方向性だとは思いますが、現場の先生や子どもたちが置き去りにならないような進め方をお願いします。地域現場によって状況が異なることもあるので、箕面市にあった地域クラブのより良いあり方を検討し続けてください。</p>
<p>先生側、生徒側双方の状況が昔とは変わっていることも理解できましたし、自然な流れだとは思いますが、とどろみ地区は他のエリアへ容易に移動できず、学校で実施されないことで塾など勉強との両立が物理的に難しくなるのは目に見えて明らかです。まだまだ誘致の段階で分からない状況ではありますが子ども達の活動機会の喪失にだけはならないよう宜しくお願いします。</p>
<p>何日も説明会の日程を設定してください、ありがとうございます。選択しやすく助かりました。</p> <p>先生方が子どもたちのために熟考してくださっていることがわかりありがたいです。</p> <p>地域クラブが部活動と同じような成長の場になることを期待しています。</p> <p>これからもよろしくお願いします。</p>
<p>募集定員が多くても試合に出れる人数は限られており、出場機会がない子供も出て来てしまうという意見(9月27日)がありました。一団で何チームも出場するのは出来ないのですか</p>
<p>団体側にとっては生徒が支払う会費で採算をとることになると、結局通常の習い事と同額程度の会費になる(施設費用分が減額されるかどうかくらい?)と思われそうです。となると、習い事との違いはあまりないのかなと感じました。</p> <p>地域クラブの活動に関する苦情の窓口は教育委員会に設置されるのでしょうか。習い事であれば指導の仕方や生徒同士のトラブルは教室の先生に言うか、何も言わず辞めるかしかがありません。地域クラブの場合は教育委員会が苦情処理や解決に向けて間に入ってもらえるのでしょうか。</p>
<p>とどろみ森町地域はどうしても移動に時間とお金がかかるので、もし子供がやりたい部活動があっても親が制限をかけてしまう家庭が多いと思えます。移動もトンネルを越えるのであれば、バスの乗り継ぎや徒歩が多く片道1時間はかかります。夜遅くなると親も心配です。親が送迎するにしても負担が大きいです。(現実的には仕事や他の兄弟もいるので無理です)また、途中で部活動がなくなる学年ともなると、地域クラブもまだまだ発展途中で数も少ない、学校での部活も途中で終わってしまう...となると入部する子供はとて最少なくなると思えます。</p> <p>変化をする時は否定的な意見も多くとても大変な時期だとは思いますが。特にとどろみ森町地区はメリットが感じられないです。が、是非やって良かったと言ってもらえるような活動になることを願います。</p>

<p>送迎や経済的な面で保護者の負担が増えるだけでは？ 地域クラブに移行することで教員に余裕ができ質が上がると思えない。</p>
<p>部活を通して学べる事が多々あったからこそ中学では部活に必ず入る事と、私の学生の頃は指導を受けていたと思います。部活動クラブに移行する事で学校とは離れてしまい学びの機会が減ると思います。現状、仕方のない事なのかと思います。また部活の指導の負担が減る事で先生方の学業への指導が充実する旨、説明がありましたがその事が逆に先生方の負担にならなければ良いなと思います。</p>
<p>現在6年生ですが、団体活動を自分たちの代を経験しないまま活動が終了してしまうまた、途中から違う団体への加入の際の心的負担だったり考えると現状来年度からの部活動以外の参加(地域クラブだけでなく外部チームも含めて)を選択肢にしたいと思っています。ただトンネルを超えとなると交通費が月2万円を超えてくるためなかなか厳しいな一と思っています。外部チームへの参加している家庭も含めて交通費についての支援と、来年度7年生になる家庭への経済的支援についても検討いただければ嬉しいです。</p>
<p>子どもたちが運動する気概がっている中で、経済的負担もあり、個人差が今後さらに増えると思う。地域環境によって、差が生じてしまうため、交通費等についても検討してもらいたい。</p>
<p>説明会で、学校の部活がどれだけ有り難かったのか十分に理解できました。 学校の部活廃止で一番気になるのはやはり部活への送迎です。 学校授業終了後に延長で学校内のクラブ活動ができるならいいですが、郊外のクラブなら保護者が就労していれば送迎対応は難しいかと思いました。 クラブの送迎を学校はお手伝い頂けないので、各家庭での負担が増えるのは不安です。 また、郊外でのクラブ活動へ送迎困難を理由にやむを得ず部活を諦めるお子さんも出てくるのでは？とも思います。</p> <p>子ども達は自由にクラブ活動を選べるが、その背景には各家庭の事情がありクラブ活動をしたくても参加できないという可能も含め何かしらの対応頂けると助かります。ご検討下さい。</p>
<p>生徒の移動手段の安全性について、検討して欲しい。例えば、まとまった単位で6中から4中への移動がある場合は、のーとを使えるようにするなど、都度、生徒の要望を取る等して検討を続けて欲しい。</p>
<p>説明会おつかれさまでした。どんな質問にも的確に答えてくださる職員さんには拍手したい気持ちでいっぱいでした。親や先生とも違う地域の大人たちや、他校の生徒と交流できることで 見て感じる世界が広がることを期待します。学校とも部活とも違う時間があることで、教室に入れない不登校の生徒の居場所やほっとできる時間になればと思います。先生方には、時間ができる分、精神的にやすらげる時間を持っていただきたいです。</p>
<p>⑦のその他で入れた、移動をやすくしてほしいについて。 阪急バスの「部活パス」「部活回数券」等の移動支援があれば、子供の自立にも繋がり、バスの利用率も上がるのではないかと。</p>
<p>ほとんどの大人が部活の恩恵を受けてきたはず。部活を通して、いろいろな人間関係、礼儀、感謝、集団生活、母校の誇り、同じ学校の部員同士の絆など、社会人として必要な資質をたくさん身につけてきたと思います。また、ほとんどの大人が自分たちの中学校生活を振り返れば、良くも悪くも部活での思い出が大半です。 そんな恩恵を受けてきた大人たちが大人の事情で部活を廃止にするなら、それに代わる地域クラブをこどもらにとって、それ以上の最高のものに変えてほしいです。今のこどもらが大人になってもずっと大事な仲間であられるような関係を作れる地域クラブにしてほしいです。どんな家庭環境の子も断念させる事なく、参加できるように、こどもらの環境を第一に優しくお願いします。こどもらは一番の宝です。よろしくお願いします。</p>

<p>部活動の地域移行は、国が進めているため、このまま地域に移行していく流れは止められないのはわかります。先生の負担を減らす、子どもたちが色々な地域クラブを選べるメリットなど、良いことばかりを説明されていましたが、保護者や移行期の子どもたちが感じている不安を解消するには、何度も説明会や市が進めていく進行状況をこまめに発信してもらいたいです。また、気になる点を上げます。</p> <p>○部活動がただの習い事になってしまわないか？</p> <p>部活があるから、学校に行ける生徒もいるし、学校内での先輩、後輩の関係から得る経験は大きいと思います。ちなみに、うちの中1の息子は小学校の3年～6年が不登校だったが、6年生の時に小学校に中学校の吹奏楽部が来て演奏してくれて、中学校で吹奏楽部に入りたいと思い、実際に中学校に毎日通えるようになっていきます。部活が楽しいから、学校に行っている子どもが一定数いると思います。</p> <p>部活動が担っていた、「学校が楽しい」という部分は、部活動が地域クラブに移行したあとは、何か考えがあるのかを教えてください。</p> <p>○教職員の負担を減らすなら、外部の講師への依頼、教職員の数を増やすなど、できることはあるはず。また、学校の先生と話す機会があったが、「教師の負担は部活だけではない。」とのこと。</p> <p>その他の負担はどうなるのでしょうか？</p> <p>部活動が地域に移行するだけで、教師のなりたいたいという人は本当に増えるのでしょうか？</p> <p>教師の成り手が少なくなり、教師を辞める人も多くて、教師が少なくなっているけど、他にも原因があるはず。その原因を解決しないと、何も変わらないのでは？</p> <p>部活廃止が、お金をかけずに、そして世間に関わりやすく、教師の負担軽減をやりやすかっただけなのか？と思いました。</p> <p>○子どもの育ちや、今移行期の子どもたちの気持ちはどう考えているのか？</p> <p>まずは子どもたちに説明をするべきだと思います。</p> <p>保護者、地域の方向けの説明会はありましたが、特に今の中1、小6の子どもたちへの説明をすることは考えているのでしょうか？</p> <p>まだ先が見えない中、進めているから、詳しく説明できないのでしょうか？</p> <p>来年度は後輩が入ってこないかもしれないと、不安に感じている子どもたちもたくさんいるので、今後の部活動移行の説明を子どもにもしてほしいです。</p> <p>子どもたちの気持ちを置き去りにしたまま、進めないでください。</p> <p>よろしく願います。</p> <p>最後に、説明会の質疑応答と、このアンケートで回収した意見と、それに対する市の回答をまとめて、資料として配布を必ずお願いします。移行していくことが決まっているのは理解できるので、市民の不安を解消して、地域のみんなが応援していけるような、地域であたたかく子どもたちを育てていくという、部活動の地域移行になればと願っております。</p>
<p>これまで、学校の先生たちが担ってきたので、継続してきたことがある。</p> <p>地域クラブは、ずっとそのクラブが続くとはかぎらない。経営がなりたたないとなくなるだろうし、指導者が確保されなければ、なくなる。</p> <p>子どもたちがやりたいと思っても、不安定な地域クラブなのではないか。</p> <p>その、リスクをどう考えておられるのか、教育委員会、市の考えをききたい</p>
<p>ご説明ありがとうございました。地域クラブか外部クラブか選べるように外部クラブなどの情報もほしいです。</p> <p>クラブに勝るほどの学校の楽しさがあれば、これ以上に不登校は増えないと思いますが、逆に不登校が増えて先生方の負担増大とならないのか？また、地域クラブが子どもたちの居場所となるならば、何かしらの形で学校と連携できるシステムも必要だと感じました。</p>
<p>今は教員の献身性で維持されているので、以下のリスクが有る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・突然なくなるリスクがある</li> <li>・持続可能でない</li> </ul> <p>との説明であった。</p> <p>今日の説明で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のリスクが地域クラブに移行することで、なぜ解消されるのか？説明では理解できない</li> </ul>
<p>子どもへの説明を丁寧にしてほしい。大人が思う以上に不安に思っている。しかし、説明会での説明を聞いて安心したところもある。</p>
<p>①地域クラブへの申し込みは各自なのか、学校経由なのか？</p> <p>②学校は生徒がどのクラブに入っているか、把握はするのか、それぞれの地域クラブと学校と関わりがあるのか？</p> <p>③地域クラブの掛け持ちは可能か？</p> <p>④移動時での事故、怪我などの保険はどうなるのか？</p> <p>⑤定員割れの場合はどうなるのか？</p> <p>⑥体験期間などあるのか？</p> <p>今までは部活で17時まで学校にいるという、安心感、子供も居場所があると思います、6時間目が終わって下校すると時間を持って余したり遊んでばかりにならないか不安</p>
<p>とてもわかりやすい説明でした。</p> <p>子どもたちのために設計にご尽力いただけていることがよく分かりました。</p> <p>ご説明により不安よりも期待が高まりました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>全てにおいてモヤモヤする内容でしかなかった。先生の働き方改革を地域の人たちに押し付けているようにしか感じられない。</p> <p>質のいい教育や、部活動がなければ先生の数も増えるみたいなことを言うてはいたが、それで質が良くなるんでしょうか？</p> <p>全体的に子育て応援しているような市がこんな中途半端なことしていいのかと目を疑いました。</p> <p>教育委員会の人も論点がズレているというか自分たちのことを正当化するだけの会のように思えて仕方ない。これが決まるまでに、対話する場を設けていないのもずるい気がします。</p>

<p>昨日は部活動の地域移行に向けての説明会という貴重な機会をご提供いただき誠にありがとうございました。教育委員会の皆さまの苦悩やこれまでの経緯も理解ができたので、参加できてとても有難かったです。様々な事情を考慮しつつ、最適解が何なのかを必死に探ってこられたことに感謝申し上げます。ただ、個人的には中学校の部活動というのは非常に重要だと考えておりました、地域移行については、非常に懸念点が多いなと感じております。以下、長くなってしまい申し訳ございませんが、私の意見を記載させていただきます。お忙しいところ恐れ入りますが、ご確認・ご検討いただけますと幸甚に存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、「子どもたちにとってどのような部活の形が最善か」ではなく、「先生の働き方改革」の視点からの方針になっているように感じました。</li> <li>・中学生にとって、学校に通う大きな目的（楽しみ）の一つに部活動があると思います。私自身もそうでしたし、すでに中学校を卒業しましたが、私の子どもも同様の意見でした。</li> <li>・部活動が学校から切り離され、中学校が「勉強をしに行く場所」となった場合、「学校に行きたくない」子どもが増えないか、少し心配です。</li> <li>・子どもたちや保護者から見て、参加のしやすさや移動の安全性の確保、部員数が増えることによる対外試合等での出場機会の減少、日常生活とのバランス（場合によっては夜の活動になる可能性ありとのこと）、経済的な負担といった面でデメリットが目立つのではないかと感じました。</li> <li>・過疎化や生徒数の減少で単独チームが組めなくなってしまった場合に地域で連合チームを組むのは仕方ないと思いますが、箕面市はまだそのような段階ではないように感じます。全国的に一律に部活動の地域移行を進めなくても、その地域の状況に応じて柔軟に対応していけば良いのではと考えました。</li> <li>・現場の先生方からの「今のままの部活では無理（持続できない）」との強い突き上げがあるとのことでしたが、実際の教員の皆さまへの全教アンケートなどは実施されたのでしょうか？それとも、一部の教員の方からの強い申し出があったということでしょうか？例えば、現場の教員の方々の過半数が地域移行を望んでいらっしゃるのであれば納得もできるかなと思いますが、そのようなデータはあるのでしょうか？</li> <li>・もしくは、現状のままでは顧問を引き受けるのは難しいが、きちんと休みが取れたり、手当が出たりするのであれば顧問を引き受けても良いなどの意見はどの程度あるのかも知りたいです。</li> <li>・部活動への関与を希望する教員の方については、兼業を認められるような法改正がなされれば、報酬を得て参加することも可能との趣旨を伺いましたが、そのような法改正が可能なのであれば、従来の部活動の延長で、顧問としての手当てや時間外手当が支給できるような法改正を国に求めていくこともできるのではないかと感じました。</li> <li>・また、従来通りの部活動を維持する自治体があるとすれば、その自治体での教育を望む新たな住民の流入もあるかもしれないと思います。これは「教育・子育て日本一」を掲げる箕面市にとっても有効な方針になり得るかもしれないと思います。</li> <li>・学業と部活動を両立させ、充実した中学校生活を送らせたいと考える家庭からすると、私立の学校への進学意向が高まるのではないかなとも思います。もしそうになると、少子化で全体の生徒数が減少していく中、公立校の生徒数が主に減少していく可能性もあり、いろいろな弊害が出てくるかもしれません。</li> <li>・「教育」は将来の日本や箕面市を支える人間を育てる非常に重要なものなので、必要なところには住民の理解も得ながらしっかりコストをかけていただきたいです。</li> <li>・「持続可能な部活動」の仕組みを作るのが主目的かと思いますが、個人的には地域（民間）移行の方が持続可能性を担保しにくいと感じます。</li> <li>・民間ですと赤字の事業は続けられませんし、非営利（赤字覚悟）の事業こそ国や自治体が行うべきものではないかと考えています。</li> </ul> <p>以上、長々と勝手な意見ばかりで申し訳ございませんが、せつかくの機会ですでお伝えさせていただきました。どうぞよろしく願いたします。</p>
<p>選択肢を増やすことも重要だが、現存する部活動の種目はぜひ優先的に対応して継続させて欲しい。</p>
<p>先生方の負担軽減もよく理解できますが、 現在、部活中の怪我などの際の保護者への連絡や対応などは先生がやって下さってます。保護者主体でクラブを立ち上げた場合、そういった保護者対応が難しいことが懸念されます。</p>
<p>継続的にクラブチームが運営できるよう、認定された団体には、体育館の使用料や空調代等の優遇は継続的に続けてほしい</p>
<p>人気のあるスポーツ系の部活については比較的問題なく移行できていると思うが、やはり文化系の部活については引受けの団体がいない可能性が高いと思っており、大変に危惧しています。 コミュニティセンターによるサークル活動設立の働きかけや、団体設立の支援などまで含めて、しっかりと進めていってほしいと感じます。</p>
<p>先生が大変な事がわかりました。もう決まった事なんですよ。私も部活活動をしていて色々な経験をさせてもらったので自分の子にさせれないのが残念です。</p>
<p>中学校で部活を継続することが難しいこと、外部委託は予算的に難しいことなど、地域に移行する理由は理解できました。実際に通える範囲で子供がやりたいクラブが見つかるのか、心配はありますが、受け入れりしかないのだろうと思いました。軌道に乗るまで、時間が必要なかなと思いますが、子供達の大事な中学時代の経験を、奪うことにならないように、と願っています。</p>
<p>①部活動を地域活動へ移行するのであれば、児童の生活時間、環境の変化による悪影響やリスクへの対策まで考えておく必要がある。（持て余した時間での回遊、7時時間の増、遅い時間の徘徊等） ②教員の負担軽減は休息のためでなく、空いた時間を活用し、教育向上のための啓発に取組み、成果を上げることが絶対（特に若年層の意識を懸念） ③塾通いの子が増えているが、放課後や地域クラブを活用し勉強面も補填できないのか。</p>
<p>説明会では現状について多くの点がまだ決まっていないことがわかりました。 移動方法や費用など、こちらからの質問にも明確な答えは得られませんでした。 今後、話が進む中で、その都度必要な情報をきちんと共有してほしいです。</p>

今回の説明会で、少子化や先生方の働き方改革により学校での部活動を廃止しないといけない理由がわかりました。教育委員会としてもやむなく廃止せざるをえないくて、色々対策を考えて頂いていることもわかりました。しかし、結論から言うと学校での部活動を廃止して部活動をした生徒は箕面市公認の習い事に行ってくださいと言っているようにしか思えません。より上手くなりたければもちろんのご家庭も習い事にはお金を払って送迎も惜しみなくされると思います。しかし、公立の中学校での部活動にはそこまで求めていないです。言い方が悪いかもしれませんが、気軽に放課後、友達や先輩たちと活動できるのがメリットだと思います。もちろん、地域クラブでも友達や先輩も出来るかと思いますが、移動中の事故のリスクや時間ロス、送迎や交通費などが発生します。せめて近隣中学校との合同活動ならまだ上記のような事は軽減できるのではないのでしょうか？そうすると指導者という部分でまた問題が発生するかと思いますが、少し話は逸れますが、小学生の室内プール授業への支出を地域クラブの指導者にある程度当てるとかはどうでしょうか？そもそも暑い日は学校のプールでよくないですか？わざわざ室内プールに行かせなくてイイと思います。こども達の安全面をご考慮頂いての判断だと思いますが、プールに入って熱中症になりますか？着替えや準備運動などしていると実質1時間もプールに入っていないと思います。市民プールや遊園地のプールなどは適度に休憩をとり営業されています。箕面市の暑さ指数の設定が厳しすぎます。幼稚園児も水遊びくらいさせてあげてください。25分休憩も外で汗をかかせてあげてください。心配なら保護者の任意での活動にすればイイと思います。結局、クラブチームも箕面市が暑さ指数ダメだから近隣の市で活動したり、公園でしたりする羽目になっているんです。せっかく子育て全国1位を目指しているのなら、補助もありがたいですが、こども達の活動できる環境を禁止しないで欲しいです。神戸市などが地域活動クラブに移行したからといって、箕面市もとは時期早々では尚でしょうか？その後、神戸市のこども達や保護者の感想など結果についても調査して欲しいです。

アンケートを小学校四年生から六年生に実施したのも疑問。クラブ活動を実際に行っている世代や、保護者にアンケートを取ってほしかった。スポーツや文化、芸術を本格的にしたり生涯スポーツにしたければ、個人で習い事に通う。学校の部活は、どの子供達にも平等に参加できる時間と、場所であったはず。同じ中学のクラスメイトと、放課後に過ごすかけがいのない時間を取り上げてしまうことになる。部活で、友情や、協調性を学び、同じ中学で仲間意識、チームワークを学ぶ。部活に求めるのは、技術向上や、よりよい練習環境や指導者では、ない。

質問しても、回答している方の思いや、～と思う、イメージ、今後しか回答されない。質問する気も失せます。決まっていなかったら、質問を受け付けない方がまし。不安について、何も回答していない。その割には、進めることだけ決まっているから、そこは、声たからかに、大声で話す。決まっていなかったら、質問させるだけ、失礼。

5年前に卒業した子どもの時から数名そうでしたが、今現在もクラブだけ学校に来れる子が居ると思います。学校でのクラブ活動がなくなることによってその子の居場所がなくなると心配です。派生して保護者の心身的な負担が増加することにより、虐待などな繋がらないか大変心配です。クラブ活動がなくなり、より一層学校に来れなくなる子のフォローする体制を、箕面市としてしっかり整えてほしいです。

クラブ活動が、教職員の負担として大きいのはよくわかっていたので、地域移行することに関しては、反対ではありません。ただ、大阪府全域で地域移行決定ならば、納得できますが、近隣の市町村が地域移行しているからという理由では、あまり納得がいかないかと思いました。もう少し周りの市町村の様子を見たり、動向を見てからでも遅くないのではないかなと思いました。神戸市から始まった流れだと思いますが、あまりにも移行期間が短く、現時点では未定の部分がかかり多いと感じました。いろいろなところで問題が出るのではないかなと思いました。またこの移行期間にあたる小学6年生は、小学校入学時にコロナ禍になり、中学3年生の最後の1年間が、また中途半端になるのは残念だと思いました。

昨日は説明会の開催、お疲れさまでした。とてもわかりやすい説明で、一つひとつの質問にも丁寧にご対応いただきありがとうございます。昨日の質疑応答の最後のほうで一人の保護者のかたが「子どもの気持ちに寄り添ってくれているのか」といった質問（というか投げかけ？）がありました。確かに、今回保護者向けの説明会を開催してもらいましたが、子ども達の説明がまだということでしたので、そうであれば、できる限り早く開催していただきたいと思いました。（学校側から説明するのが良いか教育委員会から説明するのが良いのかどちらが適切かはわかりませんが）

現状は決まっていないことも多く、その状態で情報共有することで余計に不安をおおってしまうかもしれないといった配慮もおありかもしれませんが、不確定要素が多かったとしても、ありのままの現状や「教育委員会も先生がたも生徒皆のより良い学び・経験の場づくりのために一生懸命考えている」という姿勢や“生煮え”の過程を敢えて見せることで、一定の不安の解消につながると思います。また、そうすることで子ども達が「自分たちはこれからどうしたいのか」と、当事者意識を持って、より自主的に考える機会となると思っています。

不安の気持ちが大きくなる前に伝えないと、あるいは伝え方を間違えると、これは敢えて極論で言いますが「大人の都合で僕たちの部活が無くなるのは納得がいかない」「先生たちが楽をしたいだけじゃないのか」（決してそうではないと認識していますが）、「部活動の無い学校なんてつまらない。学校へ行くモチベーションダダ下がり。私も不登校生になろうかな」といった反応が出ないとも限りません。（敢えて極論です！）おそらく、これまで熱心に部活指導をしてこられた先生方の中には、今回の部活動が地域クラブに移行することで、子ども達と接する機会が無くなる（あるいは減ってしまう）ことに心を痛めている先生もいるのではないのでしょうか（私の勝手な憶測です。多くの先生は「負担が減って良かった」というのが本音でしょうか。）

地域クラブへ移行することについて一人ひとりの先生がどう思っているのかその気持ちの部分も併せて伝えて頂き、「現状はこうなんだけどみんなはどう思う？」と投げかけてもらおうと共感してもらいやすいのでは。

今は大人である私たちが子ども達のためを思って一生懸命新たな仕組みを構築しようとしているかと思えますし、その点は本当に心から敬意を表します。が、すべて（大人が）完成したものを「与える」のではなく、一定の土台のうえで、子ども達にも参画してもらい、「一緒につくる」というスタンスで取り組むことによって、子ども達のほうから「自分がやりたい競技のクラブが近場で無いのであれば自分たちで立ち上げたい」という声が出てくる可能性もあります。

もし、何かを始めたり継続したりするといった時に、予算が足りないのであれば、すぐにあきらめるのではなく、「文部科学大臣に“〇〇の費用を予算配分お願いします”という嘆願書を送る署名活動をみんなで始めようや」みたいな提案も子ども達のほうから出てくるかもしれません。実際はどうなるかわかりませんが、そういった話し合いやディスカッションのプロセスでいろんな学びや気づきがあるのではとも思います。（余談ですが、リノバクエストさんの未来の部活のコンセプトはそのような考え方に近いのかなと感じています）

「箕面市内の全中学生が来になり、霞が関に乗り込んで文部科学大臣に直談判して予算を勝ち取った」（みたいなサクセスストーリーが描けないかと勝手に妄想してしまいました^^;）

蛇足ですが、以前、人材開発のコンサルティングの会社で（対象は大人ですが）人づくり・組織づくりに15年ほど携わってまいりました。教育委員会の皆さんにとっては釈迦に説法の話で大変僣越ではございますが、私が痛感してきたことは、（教育は）与えれば与えるほど相手は受け身になるということです。3人の子どもの育ててきた父親としても、大人である自分の日々の言動が子ども達の自主性の芽を摘んでいないかとモヤモヤする時もあります。一方で、先日五中の文化祭を見に行ってきましたが、準備期間も短い中で、3年生の歌あり踊りありの（寸劇？）発表はけっこう仕上がっていて、「大したもんだ！」と純粋に感動しました。大人が子ども達を心から信じて任せて機会を与えれば、大人がびっくりするぐらいの成果や成長を見せると感じましたし、「箕面っ子たち、なかなかやるやないか！」と誇らしく思った瞬間でもありました。これまで慣れ親しんできた部活動という仕組みが終わるといっては様々な不安や不安・抵抗など負の要素があるかと思えます。しかしながら、いわゆる“ピンチ”をチャンスに変えるという前向きな発想で、箕面の子ども達の無限の可能性を信じて、このソフトチェンジを進めていただき、結果的に子ども達の笑顔も増えて、保護者も先生もハッピーになるような形で移行していただけると嬉しいです。